

旨既報ノ處其後ノ狀況左記ノ通り

一、會社側ノ態度

大正十二年大震災後會社ノ著シク業務榮展シタ
ル為メ事務不整練ノ社員多數ヲ採用シタルカ近時
之等社員カ事務ニ習熟スルニ至リ一日數時間ノ執
務ニテ充分ナルヲ以テ冗員淘汰ヲ為スコト、ナリ
平素成績不良ノ者病弱者及生活ニ差支ナキ者ヲ
以テ社員恩給規程ニ據ル給與ノ外月給ニケ月分ヲ
給シ規程ニ該當セシム者ニハ

六ケ月未滿勤續者	月俸一ケ月半分
一ケ年未滿	ニケ月分
ニケ年未滿	三ケ月半分

一、爭議交渉團ノ動靜

ヲ給與解職シタルニ被解職者八十二名中井上滿生
外九名ヲ除クノ外何レモ會社ノ立場ヲ諒トシ積力
ニ辭職願ヲ提出シ退職金ヲ受領シタルモノニテ
復職ハ絶對ニ許容セサル方針ナリト

被解職者中緒方一太郎中村春子小川一二、植田峯藏
中村榮井上懺生阿部健吉等二十余名ハ去ル二十一
日以降本部ニ參集対策協議中ナリシカ實行委員ト
シテ俸給者組合鶴見弘岡崎一夫交渉團員小川一二
蜂谷八島等ヲ擧ケタリ
斯テ實行委員ハ二十二、三兩日ニ亘リ本社ヲ訪問シ
田村政書課長ト會見シ先夕復返ヲ要求シタル後被